

## 平成19年度 川崎市ふじみ園の管理運営に対する評価について

### 1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団（川崎市川崎区砂子1-10-2）
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害者授産施設支援に関する業務</li> <li>・生活支援事業(施設型)</li> <li>・施設の利用契約に関する業務</li> <li>・管理施設の維持管理に関する業務</li> <li>・利用者意見の把握及び事業への反映に関すること</li> </ul>

### 2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
① 施設・設備の維持、管理に関する業務	建物管理関係は南部身体障害者福祉会館に業務委託。調理業務は外部業者に委託。	施設の維持・管理については南部身体障害者会館と連携をとり、適切に行っていることは、評価できる。
② 職員配置及び研修の状況	園長1、事務員1、栄養士1、支援員10、医師4(嘱託)、作業療法士1(非常勤) 【内部研修】 契約職員新任研修 衛生管理マニュアル研修、等 【外部研修】 関東就労センター協議会 川崎市相談支援従事者初任研修 サービス管理責任者研修、等	内部研修の開催や外部研修への積極的な参加により、職員の資質向上に取り組んでいることは、評価できる。
③ 関係機関との連携や地域とのつながり	福祉事務所、生活支援センター等と連携し情報提供に努めた。また、実習生を積極的に受け入れた。	関係機関の連携が図られ、実習生の受入れにも積極的であることは、評価できる。
④ 利用者の健康管理	嘱託医や主治医との連携を密にし、必要に応じて受診に同行した。定期健康診断の結果は家庭に通知し適宜受診を促した。歯科検診の際には家族同席でブラッシング指導を行った。月1回体重・体脂肪測定をし、栄養士が助言・指導を行った。	利用者の健康管理を嘱託医等と連携しながら、家族と共同で取り組んでいることは、評価できる。
⑤ 安全管理への取り組み	利用者が安全に作業できるよう安全な機械操作、環境整備を行い、整理整頓に努めた。19年度は事故発生なし。	作業の安全や事故防止のため環境整備等に取り組んでいることは、評価できる。
(2) 利用状況		
① 利用状況	在籍数54人(男性33人、女性21人) 延べ利用者数11,940人 入所3人、退所3人	個々の障害特性に応じた支援が提供され、高い利用率で推移している。

② 授産作業及びサービス提供について	<p>営業活動の結果、3件の新規受注を獲得し、生産性の向上と就労支援に努めた。支援計画と作業評価を連動させ、賃金は綿密な作業評価に基づき支給した。また、体験実習や特例子会社での自習も取り入れた。</p> <p>授産作業売上高 4,043,552円 利用者への還元額 3,960,701円</p>	<p>利用者の就労意欲や作業能力の向上に向け取り組んでいる。引き続き作業受注の営業活動に努め、利用者への還元を図ること。</p>
③ 給食の提供	<p>個別食事摂取基準に基づき食事提供を行った。家庭での食事状況の調査を行って嗜好の把握に努めた。季節感に留意し、行事食等も設けた。</p>	<p>利用者の個別状況に基づき、嗜好等にも配慮された食事が提供されていることは、評価できる。</p>

(3) 収支状況																								
① 収支状況	<p>知的障害者授産施設支援事業</p> <table border="1" data-bbox="552 712 999 1081"> <tr> <td>収入</td> <td>99,955,000円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>77,000,000円</td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td>7,680,000円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>13,560,000円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,715,000円</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>93,873,000円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>67,438,000円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>8,120,000円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>12,648,000円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,667,000円</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>6,082,000円</td> </tr> </table> <p>収入のうち85%が自立支援給付費等、14%が市からの委託料である。支出は72%が人件費となっている。</p>	収入	99,955,000円	給付費	77,000,000円	利用料	7,680,000円	委託料	13,560,000円	その他	1,715,000円	支出	93,873,000円	人件費	67,438,000円	事業費	8,120,000円	事務費	12,648,000円	その他	5,667,000円	差額	6,082,000円	<p>昨年より収支が改善し、黒字となったことは評価できる。今後も安定した施設経営に努めること。</p>
収入	99,955,000円																							
給付費	77,000,000円																							
利用料	7,680,000円																							
委託料	13,560,000円																							
その他	1,715,000円																							
支出	93,873,000円																							
人件費	67,438,000円																							
事業費	8,120,000円																							
事務費	12,648,000円																							
その他	5,667,000円																							
差額	6,082,000円																							
(4) その他																								
① 利用者からの意見・要望等への対応	<p>保護者会を毎月開催するほか個人面談を行った。苦情・相談申し込み用紙と投書箱を設置した。</p> <p>19年度は苦情・要望はなかった。</p>	<p>今後も受付体制を整備し、適切な対応を図ること。</p>																						
② 個人情報の保護	<p>個人情報保護に関する法律及び川崎市の基準に基づいて法人が策定した要綱にしたがって、個人情報の保護を図った。また情報の収集や利用についても利用者の同意を得るなど適切に取り扱った。</p>	<p>今後も個人情報保護の徹底を図ること。</p>																						

### 3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

施設管理・事業運営等については適切になされ、収支も改善した。授産作業の営業活動に取り組み、新規受注を獲得した実績は評価できる。

### 4 平成20年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

新体系への移行に向けた事業運営の準備を進めること。また、利用者満足度の把握や第三者評価の導入などにより、利用者主体のサービスの向上に努めるとともに、引き続き経費削減や授産事業の拡大を推進するよう、努めること。